

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回)全国選定地区

ビジネス・イノベーション部門				
No.	所在 市町村	地 区 名		取 組 の 概 要
1	秋田県 横手市	Pilz株式会社	 椎茸栽培ハウス	【概要】菌床製造から椎茸販売。廃菌床を利用した昆虫の繁殖販売。昆虫の糞を堆肥として連携農家等へ販売。 【効果】椎茸の一貫した栽培による品質の向上。昆虫は横手市のふるさと納税品として採用。周年栽培が出来る椎茸での大きな雇用を確保。昆虫の糞を堆肥として生産した野菜を学校給食へ提供し、資源循環を含めた食育として活用。令和6年から新たに農福連携に取組む。
2	山形県 西川町	有限会社 玉谷製麺所	 山形県産農産物を使用したパスタ	【概要】山形県産農産物や廃棄されていた素材を練込み、ストーリー性のあるアートパスタの製造と販売。 【効果】山形県の農家と連携し、未利用農産物を麺にねりこんだ「サクラパスタ」、「将棋駒パスタ」などの新商品を開発、販売することで、地域資源の有効活用と連携農家の所得の増加に貢献。ストーリー性のあるアートパスタが話題となり売上の増加。
3	福島県 只見町	合同会社ねっか	 地元小学5年生が米づくりから携わったお酒	【概要】JGAP認証の自社圃場で栽培した米を活用した米焼酎製造を中心としたアルコール飲料の製造。 【効果】地元小学生が生産した米を原料にお酒を作り、9年貯蔵し、生産した小学生の成人式にプレゼントするなど地域活性化に貢献。冬期間の雇用が生まれたことにより、UターンIターン9名の雇用。取組みがマスコミ等に取上げられたことによる売上の増加。
コミュニティ・地産地消部門				
4	青森県 弘前市	ひろさき援農プロジェクト	 ツアー参加者がりんご収穫に動む様子	【概要】企業版ふるさと納税を財源に官民連携の援農ツアーを実施。 【効果】全国からりんご収穫ボランティアが集まりりんご農家の人手不足解消。ボランティアが宿泊したことにより、農を起点として宿泊・飲食業など観光振興や経済波及効果に貢献。さらに、ツアー後弘前市へふるさと納税されるなど関係人口にも寄与。
5	秋田県 横手市	秋田県南旭川水系土地改良区	 泥んこドッチボール	【概要】農業用水と地域の関わりや水源となる河川と触合う学習会を実施。地域関係者と連携しながら農園活動を長年実施。 【効果】泥んこドッチボールなどの楽しめる取組みと組み合わせることで、地域にもう一度目を向け、地域全体で地産地消のきっかけづくりとなる取組みを実施。地元消費者へ土地改良施設や農業への理解醸成。